

アマゾン ウェブ サービス 認定トレーニング



◆人気のAWS実践入門コースがオンラインでも受講可能に! グローバルナレッジのAWSトレーニング

アマゾン ウェブ サービス(以下AWS) は、現在世界190ヵ国以上で活用されている、低コストで拡張性をもったクラウドインフラプラットフォームです。AWSクラウドの急速な普及に伴い、AWSのベストプラクティスを理解する人材を必要とする組織が増えています。

グローバルナレッジは、AWS認定トレーニングパートナー(ATP)として、AWSを使い始める方に最適なAWS実践入門コースと、AWS認定資格に対応したトレーニングを提供しています。現在、新宿・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡の6会場でAWS認定トレーニングを開講しており、約1年半で累計1,800人を超えるお客様にご受講いただきました。

AWS実践入門コースは2014年12月より、リアルタイムオンライントレーニングサービス“Virtual Classroom”での提供も開始しています。グローバルナレッジは、多様な研修形態でAWS認定トレーニングを提供し、全国のAWS技術者の育成を支援します。

◆AWS認定トレーニング推奨受講フロー



◆AWS認定資格

AWS 認定資格を取得すれば、AWS サービスに関するスキルを保持することを証明できます。専門分野ごとにAWS認定資格があります。

設計担当者向け	開発担当者向け	運用管理担当者向け
ソリューションアーキテクト - プロフェッショナル	DevOps エンジニア - プロフェッショナル	
ソリューションアーキテクト - アソシエイト	デベロッパー - アソシエイト	SysOpsアドミニストレーター - アソシエイト

※DevOpsエンジニア-プロフェッショナル試験は2015年6月より国内で受験可能になります。

試験*に合格すれば、認定資格取得! AWS認定試験対応トレーニング




*試験の申込先および会場は「Kryterion Testing Centers」です。

*グローバルナレッジは東京(新宿)、大阪(中之島)で Kryterion テストセンターを開設し、AWS 認定試験の受験会場を提供しています。

◆AWS入門トレーニング ～新宿・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡の6会場、及びVirtualClassroomで受講可能～

コース名	Amazon Web Services 実践入門1 ～一日で学ぶ、AWSクラウド活用～	Amazon Web Services 実践入門2 ～AWSクラウドのサービス実践編～
コースコード	AWC0001V【集合研修】 AWV0001V【VirtualClassroom】	AWC0002V【集合研修】 AWV0002V【VirtualClassroom】
期間/時間	1日間 / 9:30～18:00	1日間 / 9:30～18:00
形式	講義+実機演習	講義+実機演習
価格(税抜)	¥60,000	¥60,000
概要	Amazon Web Services (AWS)をこれから使い始める方に最適 ハンズオンを通じて、基本的な多層構成Webシステムの構築を行いながら、AWSの主要サービスであるAmazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)、Elastic Load Balancing (ELB)の基本機能を学習します。さらに、AWS上でのベストプラクティスなアーキテクチャーを体験し、受講後AWS上でシステムを設計、検証、構築が行えるように構成された実践的なコース内容です。	さらに多くのAWSサービスを学習したいとお考えの方に最適 AWS実践入門1で学習した内容を踏まえ、さらなるAWS主要サービスのより実践的な利用方法を学習します。ハンズオンを通じて、Amazon CloudWatch、Auto Scaling、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、Amazon CloudFront、Amazon Glacier、Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS)の基本機能および高度な機能を学習します。さらに、AWSならではの実践的なシステム構築、AWSのベストプラクティスに基づいたアーキテクチャーパターンを学習します。
対象者	・これからアマゾンウェブサービス (AWS) を使い始める方	・AWS実践入門1を修了済みもしくは同等の知識がある方 ・AWS主要サービスのより実践的な利用方法を学習したい方

**オンライントレーニングサービス
Virtual Classroom**



- Virtual Classroomはインターネット経由の双方向通信により、リアルタイムで講義を受講できる新しいサービスです。
Web会議システム、オンラインラボなどの技術を組み合わせ、教室での集合研修と同様の学習環境を提供します。
- 研修会場への移動にかかるコスト(交通費・宿泊費・時間)を削減でき、特に遠方から研修をご受講の方のご負担を軽減します。
- 受講後3か月間講義録画が視聴可能など、Virtual Classroomならではのメリットもあります。

◆AWS認定試験対応トレーニング ～AWS認定資格アソシエイトレベル対応～

※バウチャー付=アソシエイトレベルのAWS認定試験用のバウチャーが付きます。

コース名	Architecting on AWS	Developing on AWS	Systems Operations on AWS
コースコード	AWC0003V【バウチャなし】 AWC0006V【バウチャ付】	AWC0004V【バウチャなし】 AWC0007V【バウチャ付】	AWC0005V【バウチャなし】 AWC0008V【バウチャ付】
期間/時間	3日間 / 9:30～17:30	3日間 / 9:30～17:30	3日間 / 9:30～17:30
形式	講義+実機演習	講義+実機演習	講義+実機演習
価格(税抜)	¥180,000【バウチャなし】 ¥196,200【バウチャ付】	¥180,000【バウチャなし】 ¥196,200【バウチャ付】	¥180,000【バウチャなし】 ¥196,200【バウチャ付】
概要	AWS認定資格『ソリューションアーキテクト-アソシエイトレベル』対応 AWSサービスを用いてシステムを設計し、構築したいとお考えの方に最適 クラウドの伸縮自在性、スケーラビリティを最大限に利用した、一般的なITアプリケーションをAWSのサービスを使って、デザインし、構築する方法を学習します。AWS上で稼働する一般的なソリューション(ウェブアプリケーション、バッチ処理、内部ITアプリケーションホスティング)のアーキテクチャーパターンがわかります。	AWS認定資格『デベロッパー-アソシエイトレベル』対応 AWS上でアプリケーションを開発したい方に最適 AWSでアプリケーションを開発するにあたって、基本概念とプログラミングの基礎を理解します。また、AWSコードライブラリ、SDK、IDEツールキットの使い方も学習し、AWSプラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を学習します。	AWS認定資格『Sys Opsアドミニストレーター-アソシエイトレベル』対応 AWSで構築されたシステムを効果的に運用したい方に最適 AWSリソースを効果的に管理、およびサポートする方法を実際に体験します。インフラストラクチャのプロビジョニング、アプリケーションのデプロイ、コスト配分の把握、監視の活用、バックアップの作成などについて学習します。
対象者	・AWSのアーキテクト及びシステム設計をされる方 ・AWSを用いたシステムをお客様へご提案される方	・AWS上でアプリケーション開発を行う開発者の方	・AWSプラットフォームでの運用をサポートするシステムアドミニストレーター、オペレーションマネージャーの方

※アマゾンウェブサービス、Amazon Web Services、Amazon EC2、Amazon S3、Amazon RDS、Amazon EBSおよびAWSは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

